



柿崎区地域協議会だより



発行：柿崎区地域協議会 事務局：柿崎区総合事務所 総務・地域振興グループ TEL025-536-2211

10月20日（火）出雲崎町視察研修

視察研修報告

柿崎区地域協議会会長 吉井一寛

「エコパークいずもぎき」は、公益財団法人新潟県環境保全事業団が管理運営している産業廃棄物最終処理施設です。この施設で処理する能力が一杯となるため、他の場所に施設を建設しなければならず、上越地域における「広域最終処分場候補地検討委員会」が設置され、選定に入っています。

検討委員会はすでに5回開かれ、上越市内では11か所（柿崎区内では6か所）が候補地に選定されています。令和2年度中には3〜5か所程度に絞り込まれる予定です。

柿崎区地域協議会では、区内で6か所の候補地があることから、供用されている「エコパークいずもぎき」を視察研修先に選び、施設の見学を行うとともに、選定に至った経過や環境に及ぼす影響、供用で得られるメリット等についてヒアリングを行ってきました。候補地が柿崎区内になった場合は、今回の視察研修で得た情報をもとに地域の皆さんと検討していきたいと思えます。

また、出雲崎町ではデマンド交通「てまりん」が平成31年から運行されています。出雲崎町でも定期路線バスの減便や廃止が相次ぎ、交通空白地域が生じていました。少子高齢化、子育て支援、福祉事業における公共交通の必要性の高まりから、行政主体で公共交通の再設計に着手し、1年足らずでデマンド交通「てまりん」が運行するに至ったとのこと。

柿崎区内でも公共交通の維持・存続は重要事項であり、研修で得られた教訓を生かしたいと考えています。



- 【最終処分場エコパークいずもぎき】
- ①② 第3期処分場の様子
 - ③ 浸出水処理施設の様子
 - ④ 浸出水処理施設内での説明
- 【デマンド交通てまりん】
- ⑤ 出雲崎町職員からの説明



9 月 15 日（火）団体との懇談会

地域の団体との懇談会を行って

柿崎区地域協議会委員 武田正教

柿崎区地域協議会では、自主的に審議するテーマを検討するため、9月15日に団体との懇談会を開催しました。

『柿崎区の現状と課題について』とのテーマで榎井辰雄新潟県議会議員から講話をいただいた後、①柿崎病院について②久比岐高校について③免許センター跡地利用④空き家対策⑤今後の柿崎の在り方⑥地域の公共交通の在り方の6つのテーマで、団体から意見をお聞きしました。

どのテーマも、今後の柿崎を考えるためには避けて通れない問題ではありますが、良い方策が見出せない懸案事項でもありました。

今回の懇談会の内容をふまえ、地域協議会でも協議した結果、公共交通の在り方・柿崎区の空き家対策の2テーマを前期に、柿崎区保育園の在り方・柿崎免許センターの跡地利用の2テーマを後期の自主的審議テーマと決定し、専門委員会を立ち上げました。今後、課題解決に向けて検討していきたいと思えます。



10 月 24 日（土）頸北地区合同研修会

頸北地区地域協議会合同研修会に参加して

柿崎区地域協議会委員 貝谷雅子

頸北地区地域協議会合同研修会が、10月24日に吉川体育館で開催されました。

講師として、新潟県柏崎地域振興局長・上越保健所長・糸魚川保健所長の山崎理氏、新潟県立柿崎病院後援会会長の榎井辰雄氏から話をお聞きしました。

山崎氏からは、住み慣れた地域で自分らしい暮らしを人生の最後まで続けることができるよう、医療・介護・予防・住まい・生活支援が一体的に提供される地域包括ケアシステム、医師や医療従事者の働き方改革の推進等の情報提供があり、大変参考になりました。また、榎井氏は、柿崎病院を地域医療の要として、どのような医療を残すのか議論を行うことが必要だと提言されました。

各地域協議会からも活動報告があり、改めて地域協議会委員として決意を新たにしました。



今年度地域活動支援事業に採択した事業を紹介します

柿崎中学校創立50周年記念式典・記念講演会事業

柿崎中学校創立50周年記念事業実行委員会

柿崎中学校創立50周年記念事業実行委員会では、10月17日に記念式典・記念講演を開催しました。

記念演奏として、上越教育大学大学院教授 上野正人様よりバリトン独唱を、記念講演として、お笑い集団ナマラ様よりエンターテイメントショーをしていただきました。バリトン独唱では、普段は聴くことができない本格的な歌唱がかきざきドーム全体に響き、生徒を含め来場者全員の心を震わせました。エンターテインメントショーは、柿崎地域、柿崎中学校に取材し、柿崎中学校のために独自に作り上げていただいたものであり、生徒たちのたくさんの笑顔を見ることができました。コロナ禍にあり、多くの楽しみが削られてしまった今年度、生徒たちにとって貴重な潤いの時間となりました。

今後、記念式典の様子も含め「記念誌」を完成させ、柿崎区全戸に配付いたします。ご覧いただき、柿崎中学校50年の歴史を感じ取っていただけたら幸いです。



第3回手しごと・手づくり柿崎・上越作品展

手しごと・手づくり柿崎・上越作品展実行委員会

10月16日から18日までの3日間、浄福寺を会場に「第3回手しごと・手づくり柿崎・上越作品展」を開催しました。

この作品展は、柿崎の文化を広くアピールし、地域活性化を目的に平成30年から始まったものです。今年で3回目を迎え、地域の方々に多彩な作品を鑑賞してもらい、より充実した作品展をめざすため、今回初めて地域活動支援事業に申請し採択を受けました。

コロナ感染が拡大する中、8月の開催が延期されましたが、市民による積極的な感染防止対策で小売状態が保たれたことから、10月開催が実現しました。3日間の開催で560人余りの来場がありました。笑顔でじっくり鑑賞している来場者の姿を見て、作品展の目的が達成されたことを実感し、継続開催への大きな力を与えていただきました。

来年度も開催を計画していますが、今後も創意と工夫を凝らした作品展とし、柿崎区はもちろん、上越地域の活性化に貢献していきたいと思えます。



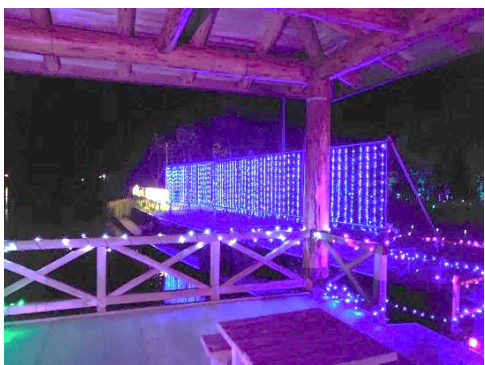
今年度地域活動支援事業に採択した事業を紹介します

（ハピネス）
H a p p i n e s s イルミネーション事業

柿崎商工会青年部

本年は新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、多くのイベントが中止となるなど、恐怖や不安、生活面でも多くの方々が苦労を強いられており、子どもたちの楽しみの場も奪われました。全国で行われた医療従事者を励ますブルーライトアップをヒントに、柿崎でも明かりを灯し地域の活性化、地域の方々や家族や仲間を元気づけたい、何より子どもたちが楽しめる場所を提供したい、そんな気持ちから、あらゆる方々へ心からの感謝と励ましの想いを込めて本事業を計画しました。

H a p p i n e s s には、幸福、幸せ、喜び、嬉しい、楽しいなどの意味があります。来観された皆様にそんなひとときをお届けできたかと思えます。子どもたちのたくさん笑顔、喜ぶ姿、子どもたちの笑顔のために、柿崎商工会青年部が一丸となり、また地域の皆さまからも多大なるご理解ご協力を賜り、無事に本事業を実行することができました。



会場：坂田池公園内

まちづくりフォーラムを開催します！

◎開催日時：令和 3 年 2 月 23 日（火・祝日）
午後 1 時 30 分から（1 時間 30 分程度）

◎会 場：柿崎地区公民館 3 階 集会室

柿崎区地域協議会の活動報告や、地域活動支援事業の成果報告等を行います。
詳しくは 2 月の回覧チラシをご覧ください。

【編集後記】

朝晩と寒い日が続いております。私事ですが、昨冬インフルエンザにかかりました。熱も上がり体調も最悪。土曜深夜で病院もやっていたいな。ダメもとで柿崎病院に電話すると、快く対応していただきました。看護師さんの笑顔に救われ、先生に処置していただき、安心して週末を過ごすことができました。

昨今、柿崎病院の存続問題が出てきておりますが、近くに県立病院があると心強く感じます。

当地域協議会でも、地域の課題について検討する委員会が立ち上がりました。「地域の交通を考える会」と「柿崎空き家活かそうプロジェクト」です。難しい課題ではありますが、前向きに取り組んでまいります。
(岩野)

編集委員長
編集委員

片桐 充
岩野秀樹 薄波清美
貝谷雅子 片桐宏樹
小出祥世 小山 慶

地域協議会を傍聴しませんか？

開催日程は、防災行政無線でお知らせします。詳細は柿崎区総務・地域振興グループへお問い合わせください。

TEL 025-15009-2211